



各 位

2023年1月13日

会 社 名 株式会社イオンファンタジー
 代表者名 代表取締役社長 藤原 徳也
 (コード番号 4343 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員 管理統括
 兼リスクマネジメント担当 井関 義徳
 (電話 043-212-6203)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
 (コード番号 8267 東証プライム市場)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

2022年4月8日に公表いたしました2023年2月期の連結業績予想及び個別業績予想並びに配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2023年2月期の連結業績予想 (2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	78,900	2,600	1,700	400	20円24銭
今回修正予想 (B)	73,200	300	350	△3,400	△172円00銭
増減額 (B-A)	△5,700	△2,300	△1,350	△3,800	
増減率 (%)	△7.2	△88.5	△79.4	—	
(ご参考)前年同期実績 (2022年2月期)	60,170	△3,408	△3,385	△4,507	△228円07銭

(2) 2023年2月期の個別業績予想 (2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	62,500		2,400	400	20円24銭
今回修正予想 (B)	59,380		3,070	△3,400	△172円00銭
増減額 (B-A)	△3,120		670	△3,800	
増減率 (%)	△5.0		27.9	—	
(ご参考)前年同期実績 (2022年2月期)	50,410	△1,600	△1,007	△5,505	△278円57銭

(3) 修正の理由

(連結)

2023年2月期において、中国はゼロコロナ政策への影響が期首から継続し、売上の低下が続きました。12月に入りゼロコロナ政策の緩和が行われておりますが、依然として第4四半期の売上は不透明な状況が続いており、コロナ前水準の回復は難しいと判断し今回業績

予想の修正となりました。結果、中国の年間予測は売上高計画比約 53%、営業利益は計画より約▲30 億円未達の見込みです。

国内においては、7月に新型コロナウイルスの感染拡大が起こり、上半期最大商戦に影響を与えましたが、8月下旬より売上は回復基調となり9月以降はコロナ前水準を上回る進捗です。国内の年間予測は営業利益 21.7 億円と計画より約▲2.3 億円未達見込みでございます。しかしながら下半期は計画を上回る進捗で順調に回復しております。

アセアンは新型コロナウイルスの影響はなくなり、フィリピン、マレーシア等コロナ前水準を大きく上回る国もあり、年間予測は売上高計画比 128%、営業利益は約 11 億円と計画を 10 億円上回る進捗となっております。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が各々前回予想を下回る見込みとなりました。

(単体)

売上高は計画より 5%下回り、営業利益は約 21 億円計上する見込みと為替差益の計上により経常利益は計画を約 27%上回る見込みです。当期純利益は中国の業績悪化に伴い関係会社事業損失引当金を特別損失に計上し前回予想を下回る見込みとなりました。

2. 配当予想について

(1) 2023 年 2 月期配当予想

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	5 円 00 銭	15 円 00 銭	20 円 00 銭
今回発表予想		5 円 00 銭	10 円 00 銭
当期実績	5 円 00 銭		
(ご参考) 前期実績 (2022 年 2 月期)	15 円 00 銭	5 円 00 銭	20 円 00 銭

(2) 配当予想修正の理由

中間配当は 1 株当たり 5 円で決定いたしましたが、今回の業績予想の下方修正を踏まえ、期末配当予想は 1 株当たり 15 円から 5 円と修正させていただく予定です。これにより 2023 年 2 月期の 1 株当たり年間配当金は 10 円となる見込みです。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上